

教育研究データ			
1. 氏名	仙波希望		
2. 生年月	1987年10月		
3. 取得学位	博士(学術)		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2019年4月～	<p>①AL的手法をベースにした教育実践 アクティブ・ラーニングの手法をもちい、講義内でのプロジェクト化・タスク化、およびグループワークの実践をつうじた、双方向型の授業を実施している。</p> <p>②ピアレビュー/ディスカッションの実施 全てのレポートにおいてピアレビュー・講評を実施し、透明性のあるアウトプット評価の提示を行っている。同時に、改善点を参加者全体で共有することにより(ディスカッションの実施)、ロジカル・ライティングスキルの全体的な底上げをはかっている。</p>	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
①『忘却の記憶』	共編著	2018年10月	月曜社
②『惑星都市理論』	共編著	2018年10月	以文社
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
①「大東亜共栄圏と観光立国の夢：小山栄三の観光宣伝論に見る『イデオロギーの着脱可能性』について」	単著	2016年1月	『言語地域文化研究』第22号321頁～338頁
②「日々の喪失、平和の喧伝：相生通	単著	2016年7	『現代思想』第44巻15号116頁

りと動員される『平和都市』		月	～128 頁
③「『平和都市』の『原爆スラム』——戦後広島復興期における相生通りの生成と消滅に着目して」	単著	2016年9月	『日本都市社会学会年報』第34号 124頁～142頁
④「惑星都市彷徨 —— ウィルスの蔓延する街路を踏査することは可能か」	単著	2020年9月	『建築討論』2020年9月号(特集:感染症と都市地理学 —— コロナ危機以降の「再-距離化世界」)
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
①「〈広島/廣島/ひろしま/ヒロシマ/HIROSHIMA〉を、理解することはかなうだろうか」		2017年7月	「復興と文化の創造：被爆都市広島のビジュアル・エスノグラフィ」 科研研究成果報告会
②「メディア研究×地域研究の新しい可能性—〈平和都市〉広島を例に—」		2019年6月	日本マス・コミュニケーション学会 2019年度春季研究発表会
(4) 所属学会			
① 日本都市社会学会			
②			
③			
④			
⑤			